

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	2020年2月13日
【四半期会計期間】	第64期第2四半期（自 2019年10月1日 至 2019年12月31日）
【会社名】	北川精機株式会社
【英訳名】	KITAGAWA SEIKI CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 内田 雅敏
【本店の所在の場所】	広島県府中市鶉飼町800番地の8
【電話番号】	0847(40)1200(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員財務部長 西田 圭司
【最寄りの連絡場所】	広島県府中市鶉飼町800番地の8
【電話番号】	0847(40)1200(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員財務部長 西田 圭司
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次		第63期 第2四半期連結 累計期間	第64期 第2四半期連結 累計期間	第63期
会計期間		自 2018年7月1日 至 2018年12月31日	自 2019年7月1日 至 2019年12月31日	自 2018年7月1日 至 2019年6月30日
売上高	(千円)	2,371,091	1,570,062	5,408,635
経常利益	(千円)	243,373	180,784	554,676
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	(千円)	138,269	27,838	160,238
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	169,328	35,746	241,475
純資産額	(千円)	2,046,114	1,723,931	2,118,262
総資産額	(千円)	7,135,707	6,127,994	7,079,159
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	18.08	3.64	20.95
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	23.3	28.1	23.8
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	408,503	622,640	348,557
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	45,791	361,664	121,202
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	92,306	299,998	111,638
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	(千円)	1,812,826	1,734,975	1,768,747

回次		第63期 第2四半期連結 会計期間	第64期 第2四半期連結 会計期間
会計期間		自 2018年10月1日 至 2018年12月31日	自 2019年10月1日 至 2019年12月31日
1株当たり四半期純利益	(円)	12.40	4.15

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当社グループは、「産業機械事業」及び「建材機械事業」の2事業を報告セグメントとしておりましたが、第1四半期連結会計期間において、連結子会社であるキタガワエンジニアリング株式会社(建材機械事業)の全株式を同社へ譲渡しました。これに伴い同社及び同社の子会社である株式会社中国機設を連結から除外しております。

このため、第1四半期連結会計期間より「建材機械事業」を当社グループから除外しております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、本四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善などを背景に緩やかな回復基調で推移したものの、米中貿易摩擦の長期化や中国経済の減速による下振れリスク等により、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のもと当社グループは、2年目を迎えた中期経営計画「革新と創造への挑戦～独創性で輝き続けるK I T A G A W Aへ～」に基づき、引き続き3つの重点項目「独自コア技術の新分野・新市場への積極展開」「徹底した工程管理と原価削減による収益性・競争力・製品/サービス品質の向上」「創造性と自主性に溢れ、継続的な成長を支える活力ある強い組織作り」に取り組んでおります。

また、事業の選択と集中を図り、中長期にわたり業績の拡大を目指すうえで、成長事業を柱とした事業領域に資源を集中するため、連結子会社であるキタガワエンジニアリング株式会社（建材機械事業）の全株式を同社へ譲渡し、第1四半期連結会計期間より「建材機械事業」を当社グループから除外しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,570百万円（前年同四半期比33.8%減）、営業利益184百万円（前年同四半期比27.5%減）、経常利益180百万円（前年同四半期比25.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益27百万円（前年同四半期比79.9%減）となりました。

なお、当社グループは、主要製品が個別受注生産によるため、製品の受注金額・納期にバラツキがあり、大型案件になるほど売上までに相当期間を要し、月単位での売上高が大きく変動するという特徴があります。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

（産業機械事業）

銅張積層板・多層基板用成形プレス装置、自動車部品製造ライン、樹脂成形用プレス装置など多様な受注を獲得しております。しかしながら、大口案件の売上が第3四半期連結会計期間以降に集中しているため、売上高1,447百万円（前年同四半期比8.7%減）、営業利益161百万円（前年同四半期比11.9%増）となりました。

（その他）

油圧機器の売上が堅調に推移しており、売上高122百万円（前年同四半期比39.2%増）、営業利益15百万円（前年同四半期比24.7%増）となりました。

財政状態は、次のとおりであります。

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は6,127百万円となり、前連結会計年度末に比べて951百万円の減少となりました。増加の主なものは、仕掛品404百万円、減少の主なものは、受取手形及び売掛金909百万円、建物及び構築物（純額）107百万円、土地237百万円であります。

（負債）

負債合計は4,404百万円となり、前連結会計年度末に比べて556百万円の減少となりました。増加の主なものは、電子記録債務263百万円、前受金240百万円、減少の主なものは、支払手形及び買掛金343百万円、短期借入金250百万円、長期借入金136百万円であります。

（純資産）

純資産合計は1,723百万円となり、前連結会計年度末に比べて394百万円の減少となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益27百万円の計上と、非支配株主持分430百万円の減少によるものであります。

なお、当社は、当第2四半期連結会計期間において欠損填補を行っております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（株主資本等関係）」をご覧ください。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は1,734百万円となり、前連結会計年度末に比べ33百万円の減少となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、獲得した資金は622百万円（前年同四半期は408百万円の使用）となりました。収入の主なものは、税金等調整前四半期純利益63百万円、減損損失136百万円、売上債権の減少額399百万円、仕入債務の増加額248百万円、前受金の増加額598百万円、支出の主なものは、たな卸資産の増加額627百万円、法人税等の支払額91百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は361百万円（前年同四半期は45百万円の使用）となりました。支出の主なものは、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出341百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は299百万円(前年同四半期は92百万円の使用)となりました。支出の主なものは、短期借入金の純減少額250百万円であります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たな発生はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、12百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,000,000
計	20,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年12月31日)	提出日現在発行数 (株) (2020年2月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	7,649,600	7,649,600	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	権利内容に何ら限定のない当社に おける標準となる株式であり、単 元株式数は100株であります。
計	7,649,600	7,649,600	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2019年11月1日 (注)	-	7,649,600	1,035,010	300,000	1,240,745	100,000

(注) 2019年9月26日開催の定時株主総会の決議に基づき、2019年11月1日付けで減資の効力が発生し、資本金の額1,035,010千円及び資本準備金の額1,240,745千円がそれぞれ減少しております。

(5)【大株主の状況】

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	2019年12月31日現在
			発行済株式(自己 株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
北川精機取引先持株会	広島県府中市鷓飼町800-8	720	9.42
北川 一子	広島県府中市	636	8.33
内田 雅敏	広島県府中市	579	7.57
株式会社広島銀行 (常任代理人 資産管理サービス 信託銀行株式会社)	広島市中区紙屋町1丁目3-8 (東京都中央区晴海1丁目8-12)	347	4.54
北川 義行	広島県府中市	322	4.22
河原 栄	広島県府中市	246	3.22
内田 由美	広島県府中市	230	3.01
株式会社マンセイ	広島県福山市駅家町法成寺1575-17	142	1.86
北川 薫	東京都杉並区	120	1.57
大栄鋼業株式会社	広島県福山市霞町1丁目1-1	111	1.45
計	-	3,456	45.19

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内 容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,800	-	権利内容に何ら限定のない、当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,647,000	76,470	同 上
単元未満株式	普通株式 800	-	-
発行済株式総数	7,649,600	-	-
総株主の議決権	-	76,470	-

【自己株式等】

2019年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
北川精機株式会社	広島県府中市鷓飼 町800-8	1,800	-	1,800	0.02
計	-	1,800	-	1,800	0.02

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年7月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、仁智監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,771,747	1,734,975
受取手形及び売掛金	1,980,741	1,071,093
商品及び製品	6,187	1,439
仕掛品	827,388	1,231,648
原材料及び貯蔵品	137,963	107,868
その他	51,730	118,951
貸倒引当金	5,502	2,945
流動資産合計	4,770,255	4,263,031
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	576,681	469,030
土地	1,291,323	1,054,062
その他(純額)	206,945	189,488
有形固定資産合計	2,074,951	1,712,581
無形固定資産		
投資その他の資産	22,124	12,445
その他	222,643	149,726
貸倒引当金	10,815	9,790
投資その他の資産合計	211,828	139,936
固定資産合計	2,308,904	1,864,963
資産合計	7,079,159	6,127,994
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	830,940	487,729
電子記録債務	391,396	655,212
短期借入金	1,375,000	1,125,000
未払法人税等	76,785	9,920
前受金	595,487	835,853
賞与引当金	29,842	20,228
製品保証引当金	39,032	37,700
その他	330,853	208,498
流動負債合計	3,669,339	3,380,142
固定負債		
長期借入金	827,961	691,679
役員退職慰労引当金	62,347	900
退職給付に係る負債	388,412	319,816
その他	12,837	11,525
固定負債合計	1,291,557	1,023,921
負債合計	4,960,897	4,404,063

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,335,010	300,000
資本剰余金	1,340,745	660,987
利益剰余金	993,880	748,725
自己株式	1,114	1,114
株主資本合計	1,680,760	1,708,598
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,770	10,798
為替換算調整勘定	4,653	4,534
その他の包括利益累計額合計	7,424	15,332
非支配株主持分	430,077	-
純資産合計	2,118,262	1,723,931
負債純資産合計	7,079,159	6,127,994

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
売上高	2,371,091	1,570,062
売上原価	1,748,055	1,066,046
売上総利益	623,035	504,016
販売費及び一般管理費	1 369,091	1 319,866
営業利益	253,944	184,149
営業外収益		
受取利息	357	189
受取配当金	518	553
為替差益	2,102	11,447
受取賃貸料	4,200	4,980
その他	2,638	2,896
営業外収益合計	9,817	20,067
営業外費用		
支払利息	18,554	16,129
その他	1,834	7,302
営業外費用合計	20,388	23,431
経常利益	243,373	180,784
特別利益		
受取保険金	2 15,130	-
子会社株式売却益	-	18,657
特別利益合計	15,130	18,657
特別損失		
減損損失	-	4 136,235
災害による損失	3 22,319	-
特別損失合計	22,319	136,235
税金等調整前四半期純利益	236,183	63,207
法人税等	62,854	35,368
四半期純利益	173,329	27,838
非支配株主に帰属する四半期純利益	35,059	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	138,269	27,838

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	173,329	27,838
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,766	8,028
為替換算調整勘定	1,234	119
その他の包括利益合計	4,001	7,908
四半期包括利益	169,328	35,746
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	134,268	35,746
非支配株主に係る四半期包括利益	35,059	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	236,183	63,207
減価償却費	37,056	45,288
減損損失	-	136,235
賞与引当金の増減額(は減少)	6,161	1,812
役員賞与引当金の増減額(は減少)	5,600	-
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	623	4,356
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	5,168	300
製品保証引当金の増減額(は減少)	4,415	1,200
受注損失引当金の増減額(は減少)	28,800	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	57	1,148
受取利息及び受取配当金	876	742
支払利息	18,554	16,129
受取賃貸料	-	4,980
為替差損益(は益)	1,665	5,346
投資有価証券売却損益(は益)	-	1,300
子会社株式売却損益(は益)	-	18,657
固定資産除却損	0	2,503
災害損失	22,319	-
受取保険金	15,130	-
売上債権の増減額(は増加)	295,444	399,625
たな卸資産の増減額(は増加)	415,524	627,519
仕入債務の増減額(は減少)	263,079	248,398
前渡金の増減額(は増加)	51,852	12,124
前受金の増減額(は減少)	52,494	598,217
未払金の増減額(は減少)	100,855	50,817
未払費用の増減額(は減少)	10,235	17,604
未収消費税等の増減額(は増加)	31,709	37,710
その他	2,028	10,519
小計	299,272	729,001
利息及び配当金の受取額	876	742
利息の支払額	18,470	15,780
災害損失の支払額	22,319	-
保険金の受取額	15,130	-
法人税等の支払額	84,447	91,323
営業活動によるキャッシュ・フロー	408,503	622,640
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	6,300	-
定期預金の払戻による収入	6,000	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	-	2 341,780
有形固定資産の取得による支出	38,212	23,578
有形固定資産の売却による収入	85	299
無形固定資産の取得による支出	4,913	2,524
投資有価証券の取得による支出	1,037	1,066
投資有価証券の売却による収入	-	2,000
保険積立金の積立による支出	1,139	-
投資不動産の賃貸による収入	-	4,980
その他の支出	291	377
その他の収入	17	384
投資活動によるキャッシュ・フロー	45,791	361,664

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	-	250,000
長期借入金の返済による支出	84,486	49,998
自己株式の取得による支出	20	-
非支配株主への配当金の支払額	7,800	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	92,306	299,998
現金及び現金同等物に係る換算差額	417	5,250
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	546,182	33,771
現金及び現金同等物の期首残高	2,359,009	1,768,747
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,812,826	1,734,975

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、キタガワエンジニアリング株式会社の全株式を同社へ譲渡したため、同社及び同社の子会社である株式会社中国機設を連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

税金費用の計算は、従来、見積実効税率により税金費用を算定しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、税金費用をより適切に四半期連結財務諸表に反映するため、年度決算と同様の方法による税金費用における簡便的な方法に変更しております。

なお、当該会計方針の変更による前第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形及び電子記録債務の会計処理については、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日でしたが、満期日に決済が行われたものとして処理しております。当四半期連結会計期間末日満期手形及び電子記録債務の金額は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
受取手形	17,688千円	26,150千円
支払手形	114,923	31,850
電子記録債務	124,032	87,699

(四半期連結損益計算書関係)

1.販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年12月31日)
貸倒引当金繰入額	785千円	1,141千円
給与及び賞与	95,779	88,219
賞与引当金繰入額	8,669	5,637
退職給付費用	4,936	3,492
役員賞与引当金繰入額	4,000	-
役員退職慰労引当金繰入額	5,168	300

2.受取保険金

前第2四半期連結累計期間(自2018年7月1日至2018年12月31日)

「2018年9月台風21号」の影響により、神戸の梱包会社倉庫において発生した当社製品の浸水被害に対する損害保険金の受取額であります。

3.災害による損失

前第2四半期連結累計期間(自2018年7月1日至2018年12月31日)

「2018年9月台風21号」の影響による当社製品の浸水被害及び復旧費等であります。

4.減損損失

当第2四半期連結累計期間において、当社グループは次の資産グループについて減損損失を計上しました。

用途	場所	種類	減損損失
賃貸資産	広島県府中市	土地・建物等	136,235千円

当社グループは、原則として、事業用資産については事業部を基準としてグルーピングを行っており、賃貸資産と遊休資産については個別資産ごとにグルーピングを行っております。

連結子会社に賃貸してあった賃貸資産は、個別決算において賃貸資産のグルーピングとして減損損失を過年度に計上しております。一方連結決算においては、事業用資産(建材機械事業)のグルーピングとして当該減損損失を連結上消去しております。

しかしながら、「第1 企業の概況 2 事業の内容」に記載のとおり「建材機械事業」を当社グループから除外したため、連結上消去しておりました当該減損損失を第1四半期連結会計期間において特別損失として計上しました。

なお、回収可能価額は正味売却価額により測定しており、土地及び建物は不動産鑑定評価額により評価し、土地及び建物以外については零として評価しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1. 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
現金及び預金勘定	1,815,826千円	1,734,975千円
預入期間が3か月を超える定期積金	3,000	-
現金及び現金同等物	1,812,826	1,734,975

2. 株式の売却により連結子会社でなくなった会社の資産及び負債の主な内訳

当第2四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)

株式の売却によりキタガワエンジニアリング株式会社及び株式会社中国機設が連結子会社でなくなったことに伴う売却時の資産及び負債の内訳並びにキタガワエンジニアリング株式会社株式の売却価額との関係は次のとおりであります。

流動資産	1,524,703千円
固定資産	288,474
のれん	5,756
流動負債	785,603
固定負債	221,908
非支配株主持分	430,077
株式の売却益	18,657
株式の売却価額	400,003
現金及び現金同等物	741,784
差引：売却による支出	341,780

(株主資本等関係)

株主資本の金額の著しい変動

2019年9月26日開催の定時株主総会の決議に基づき、2019年11月1日付けで減資の効力が発生し、資本金の額1,035,010千円及び資本準備金の額1,240,745千円をそれぞれ減少し、その他資本剰余金に振替えました。振替後のその他資本剰余金のうち1,714,767千円を取り崩し繰越利益剰余金に振替え、欠損填補を行いました。

この結果、資本金が300,000千円、資本剰余金が660,987千円となりました。

なお、株主資本の合計金額への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)

当第2四半期連結累計期間の(報告セグメントの変更等に関する事項)に記載のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)

(報告セグメントの変更等に関する事項)

前連結会計年度まで「産業機械事業」及び「建材機械事業」の2事業を報告セグメントとしておりましたが、「第1 企業の概況 2 事業の内容」に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「建材機械事業」を当社グループから除外しております。

このため、「産業機械事業」以外の事業は重要性が乏しいことから、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年12月31日)
1株当たり四半期純利益	18円08銭	3円64銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	138,269	27,838
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	138,269	27,838
普通株式の期中平均株式数(千株)	7,647	7,647

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年2月13日

北川精機株式会社
取締役会 御中

仁智監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 戸谷 隆太郎 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 内藤 泰一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている北川精機株式会社の2019年7月1日から2020年6月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年7月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、北川精機株式会社及び連結子会社の2019年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。